

2 自然環境のプログラムと生活環境のプログラム

環境学習プログラムは、自然環境のプログラムと生活環境のプログラムに大別されます。

自然環境のプログラムは、自然体験活動などを通して、自然の大切やすばらしさに気づいてもらうことを主眼にしています。このプログラムでは自然や生態系を題材にしてプログラムが展開されるのですが、その最後に帰着するのは結局は私たちの暮らしの中にあることです。自然破壊や生態系の問題などの多くの原因が私たちの暮らしと関係し、私たちもやがて被害者になるおそれがあることに気づいてもらうことがねらいです。だから、指導者が自然環境のプログラムを実施する際には、日常生活に関わる環境問題についても理解していることが望まれます。

一方、生活環境のプログラムは、私たちの暮らし方が、様々な環境問題の原因となっていることや、そのために今できること、これから取り組んで行かなければならないことに目をむけてもらうことを主眼としています。このプログラムは、主に室内講座やワークショップで行なわれます。データや事実を伝えて今まで気づいていなかった現実気づいてもらい、今、改善することが未来を守ることになり、小さなことからでも行動を起こすことが大切であることを伝えるためのものです。プログラムを実施するに当たって、私たちが日常生活の中で使用しているエネルギー、薬品、プラスチックや化学製品などが、自然や生態系に与える影響や、それがやがて私たちの暮らしにもどのような形で影響してくるのかを正確に伝えることが必要です。したがって、指導者が自然の仕組みや生態系に対する知識と理解が不十分であると、そうした問題が参加者に伝わりにくいのです。

このように、別々に見える両者のプログラムですが、実は表裏一体の関係にあり、非常に密接なつながりがあるものなのです。

